

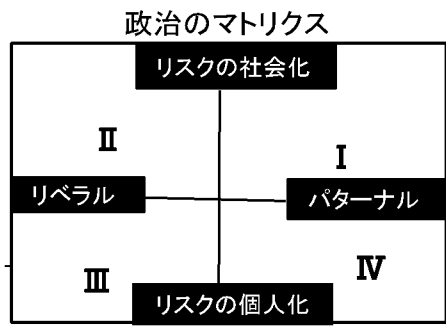
調査研究活動記録票(研究研修費:研修会等開催用)

NO.1

嬉野市議会議員

増田 朝子

開催月日	令和元年 10月 30日(水) ~ 31日(木)		
開催時間	令和元年 10月 30日(水) 13:20~14:20		
開催場所	高知ちばさんセンター (高知県高知市布師田3992-2)		
主催者	全国市議会議長会		
研修会等の名称	全国市議会議長会研究フォーラムin高知		
講師等の氏名等	第1部 基調講演 現代政治のマトリクスーリベラル保守という可能性 中島 岳志氏(東京工業大学リベラルアーツ研究教育員教授)		
内容・結果等	<p>1、政治のマトリクス(母体、基盤)</p> <p>①配分をめぐる軸…Y軸 →セーフティネット強化(リスクの社会化《大きな政府》):みんなで補いましょう vs自己責任(リスクの個人化《小さな政府》):個人で対応してください</p> <p>②価値をめぐる軸…X軸 →リベラル(自由主義) あなたの思想、考え方は認めましょう。その代り私が信じる思想には介入しないでくれ→「自由」という概念に発達 リベラルの反対概念は「保守」と言われるが、間違い。 パターンル(父権的:強い権限) 強いものが価値のあり方について介入していくこと。 安倍内閣…パターンルな傾向が強い 田中角栄はI 大平正芳はII 中曽根、橋本、小淵、森内閣、小泉内閣…一気に「リスクの個人化」 小泉内閣→安倍内閣…価値への問題へと踏み込んだ</p> <p>2、ラディカルデモクラシーとポピュリズム</p> <p>① 2017年10月の立憲民主党フィーバー ② 2019年のれいわ新選組フィーバー</p> <p>ラディカルデモクラシー&lt;市民が直接口を出す&gt; ①塾議デモクラシー :枝野:(民主主義、タウンミーティング、グループトーク) ②討議デモクラシー:山本:(対抗軸、強い言葉でせまる、敵に向かう)</p> <p>3、リベラルの逆説…「寛容」としてのリベラル:「異なる他者と如何に共存するのか」→個人の価値の領域には踏み込まない</p> <p>4、保守とは何か?…「伝統主義」(自然的保守主義)と「保守主義」(近代的保守主義)</p> <p>【感想】講師の中島氏は、テレビの報道番組元レギュラーコメンテーターとしても知られており、講話も淡々とした口調で鋭い指摘をされていた。難しい言葉での説明ではあったが、「政治の内政面での2つの大きな仕事」の話では、歴代の総理大臣(自民党の流れ)をわかりやすく区分されたことがとても興味深く聞いた。この基調講演を聴き、「大切な人を守るためには変えていかなければならない」の言葉に共感し、政治の歴史を知ることの重要性を感じた。</p>		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	旅費規程に基づき算出された旅費		49,550
	宿泊費		11,000
	研修費・食費・活動費		7,000
	振込手数料		550
	合計		68,100



## 調査研究活動記録票(研究研修費:研修会等開催用)

NO.2

嬉野市議会議員

増田 朝子

開催月日	令和元年 10月 30日(水) ~ 31日(木)		
開催時間	令和元年 10月 30日(水) 14:40~16:40		
開催場所	高知ちばさんセンター (高知県高知市布師田3992-2)		
主催者	全国市議会議長会		
研修会等の名称	全国市議会議長会研究フォーラムin高知		
講師等の氏名等	第2部 パネルディスカッション 議会活性化のための船中八策 コーディネーター:坪井ゆづる氏(朝日新聞論説委員) パネリスト:高部 正男氏(市町村職員中央研究所学長) 横田響子氏(株式会社コラボボ代表取締役) 古川康造氏(高松丸亀町商店街振興組合理事長) 田鍋 剛氏(高知市議会議長)		
内容・結果等	<p><b>坪井氏…今の地方議会に対する認識は。</b>  高部氏…「何をしているのかよくわからない」「長の提案を追認ばかりしているのではないか」という人がいるが、議会改革の取り組みが全国的に広がっている印象。  横田氏…①20年後の住民のための議論がなされているか ②データに基づいた政策づくりがなされているか ③議員の多様性の問題  古川氏…地方都市の中心市街地が再生に向かっていない。要因の一つに議会の構成がある。高松市議会は商店街の再生計画に十分な理解と支援をいただいた。  田鍋氏…高知市議会の過去3回の投票率は厳しく、市民の政治離れが見られる。平成26年より行政評価を試行錯誤しながら行っている。議員が任務と役割を認識して2元代表制の意義と意味を胸に刻む。</p> <p><b>坪井氏…どうすれば市民の議会への関心が深まるのか。</b>  高部氏…①投票率低下への対策→選挙期日の統一 ②選挙区制度の見直し ③なり手不足対策や女性、若者が議員になりやすい環境づくり ④運営面→チェック機能をしっかり果たす  横田氏…①多様な人材でガチンコ会議をしてもらいたい ②20年後の姿を見ながら、住民との会話を作っていく。  古川氏…①議員が地域の代表である以上、市民によるリスペクトが必要であり、しかるべき報酬も必要。  ②丸亀商店街に多くの市議が視察に来るが、そうした姿が市民に上手く広報されていない。</p> <p><b>坪井氏…女性議員を増やすにはどうしたらよいか。</b>  横田氏…①後継者候補としてワンリスト増やして欲しい。あきらめないで女性を口説いてほしい。  高部氏…①女性の割合を決める。②連記投票制入れることもありえる。  坪井氏…市民から議会活動が関心を持たれないのは、話題がつまらないからではないか。  住民が関心を持ちそうな話についてみんなが集まりやすいところで議会報告会をやる</p> <p>【感想】いろいろな立場の方から地方議会を語ってもらい、まだまだ議会は「何をしているのか、分からない」「長の提案の追認ばかり」の声があるが、議会改革が全国的には広がっている印象の言葉に安堵した。しかし、議会の構成に問題があり、地方都市の中心市街地の再生に繋がっていないとの指摘もあった。本市でも議会の見える化と議員になって議会です仕事をしたいと思ってもらえるように議会全体で取り組むことが大事だと感じた。</p>		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額
	旅費規程に基づき算出された旅費		NO.1に同じ
	研修費・食費・活動費		
	振込手数料		

調査研究活動記録票(研究研修費:研修会等開催用)

NO.3

嬉野市議会議員

増田 朝子

開催月日	令和元年 10月 30日(水) ~ 31日(木)		
開催時間	令和元年 10月 31日(水) 9:00~11:00		
開催場所	高知ぢばさんセンター (高知県高知市布師田3992-2)		
主催者	全国市議会議長会		
研修会等の名称	全国市議会議長会研究フォーラムin高知		
講師等の氏名等	第3部 課題討論 議会活性化のための船中八策 コーディネーター:坪井ゆづる氏(朝日新聞論説委員) 滝沢 一成(上越市議会議員) 久坂 くにえ氏(鎌倉市議会議長) 小林 雄二氏(周南市市議会議長)		
内容・結果等	<p><b>坪井氏…取り組んでいる議会改革は。</b> 滝沢氏…「市議を目指しやすい環境整備検討会」平成29年3月に設置。 議会改革推進会議→意見交換会の見直し、議会モニター制度、女性フォーラム、中学生の模擬議会 「「議会改革の推進こそ、議員を日ざす人々を獲得する最大の力」</p> <p>久坂氏…初めて現職で出産した議員。産前産後休暇と看護休暇について地方議員は、法的位置づけが明確化されていない。会議規則は議員の手で改正できる。会議規則を変えることで「議会は多様な人材、幅広い年齢層を受け入れるとの宣言にもなる。→議会の価値が高まる。</p> <p>小林氏…平成16年5月住民投票に伴う議会解散、その教訓が議会改革の原動力。「開かれた議会を目指して」「議員の資質向上を目指して」 議会基本条例→「形より実だ」</p> <p><b>坪井氏…住民の声をどのように集めているか。</b> 滝沢氏…①議会報告会 ② テーマを決めて各層との意見交換会 ③議会モニター</p> <p>久坂氏…テーマ「共生社会の在り方」参加者の固定化→団体の話、高校生を対象に実施の検討</p> <p>小林氏…平成17年8月より委員会懇話会(ミニコン)をはじめている。</p> <p><b>坪井氏…政治を志す人への言葉は。</b> 久坂氏…議員はやりがいのある仕事だから是非チャレンジしてほしい。 滝沢氏…女性議員がいなくなって、価値観が一面的になっている。女性にとって今の社会は生きづらいので、それを変えていかなければならない。</p> <p><b>船中八策…</b>①「監視機能の強化」②「次世代を見据えた議会」③「データを踏まえた議会」④「多様性の確保」 ⑤「地方自治法第96条1, 2項の活用」⑥「労働法制の見直し」⑦「情報公開の徹底」⑧「議員間の徹底議論」</p> <p>【感想】 第3部では「取り組んでいる議会改革」「住民の声の集め方」「政治を志す人への言葉」などを3自治体の議長、議員が登壇されたが、その中でも久坂氏は初めて現職で出産された議員であり、産前産後休暇と看護休暇について地方議員は、法的位置づけが明確化されていない、会議規則は議員の手で改正できるの言葉がとても印象的だった。最後に「船中八策」がまとめられ、全て大事だと思うが、①「監視機能の強化」⑦「情報公開の徹底」⑧「議員間の徹底議論」は本議会でもすぐに取り組める策であると思う。</p>		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額
	旅費規程に基づき算出された旅費		NO.1に同じ
	研修費・食費・活動費		
	振込手数料		